

Topix

★ 防災特集

☆ 紙媒体のつちおと
最終号です

『ピクニック』

昭和60年 第13回長野市野外彫刻賞

渡辺 豊重ノ作
少年科学センター

令和4年2月撮影



鉄板を組み合わせたシンプルな形の作品です。中心を白として、外側を緑に塗って、人間と自然とのかかわり合いを表現しており、内側の赤色は濁りのない心を示しています。明るい心を持って限りない自然の空間とかかわって、平和なる生活をエンジョイしようと呼びかけているような作品です。

【長野市ホームページより抜粋】

◆ 野外彫刻のお問い合わせ ◆

長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 TEL 026-224-7504



長野市少年科学センターは今月末をもって、36年の歴史に幕を閉じます。閉館後は改修工事を経て『ながのこども館(仮称)』に生まれ変わる予定です。(令和6年4月オープン予定)

ながの支部 今後の予定 3月~

3月11日(金)開催予定の「ボウリング大会」ですが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置延長のため中止することに決定いたしました。

楽しみにお待ちいただいた皆さまには大変申し訳ございません。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

内 容

- ・ つちおと防災特集 🖱️
- ・ 避難所の応急危険度判定について 🖱️
- ・ 行政庁だより 🖱️
- ・ 須古字 🖱️
- ・ 特別賛助委員会だより (株式会社カネト) 🖱️
- ・ 特別賛助委員会だより (TOTO) 🖱️
- ・ 特別寄稿 街道シリーズ 🖱️
- ・ 支部日誌 🖱️
- ・ 事務局だより 🖱️
- ・ 会員の動き 🖱️
- ・ 編集後記 🖱️



今年度の応急危険度判定士養成講習会は、まん延防止等重点措置が適用されているため、更新の受講者においては各自による動画視聴での対応となりました。また、2月7日に開催される予定でしたつきいちアーキ・セミナー『地震災害時における避難所等の応急危険度判定』も同理由で延期（開催日未定）となっております。これらの状況を鑑み、つちおとでは防災の意識を高めるために、特集を企画しました。

令和3年度末の時点で県内の判定士数は1,534名、そのうち建築士会会員は780名（全体の50%）になります。一方、ながの支部管内で見ますと、333名のうち支部会員が116名に留まる結果です。支部では有事の際の緊急連絡手段として“オクレンジャー”を採用することで迅速な対応を目指していますが、支部管内の65%の判定士と初動連絡を取れない現状にあります。将来の安心を担保するためにも、会員増強が重要になることは間違いありません。

委員会活動報告

防災委員会

避難所の応急危険度判定について

防災委員会・担当役員 勝山副支部長

◆応急危険度判定士の役割

長野県では、大規模な地震が発生した場合、県からの要請により被災地に赴き、被災した建築物が余震等に対し引き続き安全に使用できるかを応急的に調査し、倒壊や部材の落下等による二次災害発生の危険度の判定を行う応急危険度判定士（以下「判定士」という。）の認定制度を平成7年度から実施しています。平成23年に発生した長野県北部地震、平成26年に発生した長野県神城断層地震では多くの被災建築物の応急危険度判定を実施しました。建築士会ながの支部の判定士も多くの方に協力をしていただきました。

大規模地震が発生した場合には、短期間で多くの被災建築物の判定するする必要があり、判定士の方々のご協力が必要不可欠です。また、東日本大震災の際には甚大な被害を受け、多くの方が長期間にわたり避難所生活を余儀なくされました。この事態を契機に建築士会連合会が全国の建築士会に呼びかけ、各市町村との避難所の応急危険度判定の協定を結ぶようになりました。

建築士会ながの支部は長野市・須坂市・高山村・小布施町・飯綱町・信濃町・小川村の7市町村と協定を結び、大地震が発生した場合は、被災された方が一時的に生活をする避難所の安全性を確認するための判定を行うことになっています。

◆想定される地震被害

各市町村では防災計画を立てていますが、長野市の場合では「長野盆地西縁断層帯で発生する地震」と「糸魚川-静岡構造線断層帯で発生する地震」について地震被害を想定しています。長野盆地西縁断層帯の地震では、

最大震度7、市街地のほとんどで震度6強以上が想定されており、市域の多くの地域で震度6弱以上の地震の発生が想定されています。また、糸魚川-静岡構造線断層帯の地震では、西部山間地域一帯で最大震度7、市域の多くの地域で震度5強以上の地震の発生が想定されています。建物被害（全壊+半壊）は、西縁断層帯地震で約6万棟、避難者11万人、糸魚川-静岡構造線断層帯地震で約3万棟弱、4万人と想定しています。



長野盆地西縁断層帯



糸魚川-静岡構造線断層帯

◆各市町村との協定と

応急危険度判定の流れ

避難所の応急危険度判定は、まず各市町村から建築士会ながの支部に判定要請を行い、支部から判定士に要請し、避難所の応急危険度判定を行います。判定実施後各市町村が避難所を開設することになります。その後、一般建築物の応急危険度判定の実施を行います。一般建築物の判定は各市町村が長野県に派遣要請を行い、県が建築士会本会に、本会が支部に派遣要請をし、支部が各判定士に連絡をとる体制になっています。

各市町村との協定内容は、市町村によって多少の違いはありますが、災害時に市町村から避難所（災害対策本部や福祉避難所等）の応急危険度判定の要請があった場合は協力すること。判定を実施した後、判定結果・従事した人員及び名簿等の報告すること。協力要請後3時間以内（市町村によっては24時間以内）に指定された避難所の応急危険度判定を行うこと。震度5強以上の地震



が発生した場合は市町村からの要請を待つことなく判定を実施（自動発令）すること。等々が掲げられています。現在、各市町村と協定の運用について調整を行っています。協定の自動発令については、判定士の二次被害防止の観点から、行動を開始する判定士に対して、リアルタイムに被災情報や安全情報を発信できる体制が整った後に、必ず各市町村からの要請を受けてから、判定行動に入ること（自動発令は無し）や、3時間以内あるいは24時間以内に実施することは原則として、日没後の地震発生時には危険を伴うことから実施せず、翌朝から判定を実施することなどの協定の内容と、実際に災害が起きたときの連絡体制や初動体制の運用についての基本事項を取りまとめています。

避難所の応急危険度判定は各市町村からながの支部が要請を受け、支部内で応急危険度判定実施対策本部を立ち上げ、判定士への連絡する流れを想定しています。連絡網については、災害時には電話連絡が困難になることが想定されることから、オクレンジャーを使い、各判定士への連絡や情報発信をするようにしています。

◆避難所の応急危険度判定の流れ

～ 避難所の応急危険度判定フロー ～

次頁参照

震度5弱以上の地震が発生した際に、ながの支部内に応急危険度判定実施対策本部の設置準備行動に入り、各市町村との情報ラインを開通します。震度6弱以上では、本部を立ち上げます。各市町村からの連絡を受けて、判定士にオクレンジャーにて情報発信を行います。支部対策本部と判定士への連絡の流れは以下のようになります。

- ①震度5弱以上で安否確認→無事かどうかの返信。
- ②判定要請がある可能性があるので待機指示。
- ③要請があった場合に出勤できるかの確認→出勤可能かどうかの返信→本部で出勤可能人数の把握→各市町村に連絡。
- ④判定士への参集要請（参集場所の連絡、被災情報の提供）→出勤の返事をしてから参集場所への移動を開始する。→各市町村に派遣判定士の報告。
- ⑤移動中に安全情報の提供→移動中の状況を報告。
- ⑥参集拠点に到着したら到着連絡。
- ⑦参集拠点にて判定コーディネーター（行政職員）とミーティングを行い、指示を受けて、判定建築物に移動→避難所の応急危険度判定を実施。
- ⑧判定結果を各市町村参集拠点の判定コーディネーターに報告。
- ⑨判定終了後当日の状況を支部対策本部に報告。

という流れになり、その日の判定活動が終了します。

◆避難所の判定実施の基本事項

避難所の応急危険度判定は、被災した避難所が、避難所として開設できるか否かを判断する目的で行う調査・判定です。一般建築物の応急危険度判定が、建物外部からの調査を主とした応急（暫定かつ緊急）判定であることにに対して、避難所の応急危険度判定は、被災した建物やその敷地が、被災者などが避難し、生活する場として十分に安全か否か、建物内外部の細部にわたって調査を行い、慎重に判定する必要があります。調査は、建物の構造部、非構造部材（天井、間仕切壁、外部建具、建築設備など）の安全性についても実施することになります。具体的には、例えば鉄骨造の建物（体育館等鉄骨造の建物が多い）の判定では一般建築物であると、筋交いの破断等が20%以下であるとAランク（危険無し）と判断しますが避難所の場合は筋交いの破断は保有水平耐力が低下していることから、避難所としては使用しない。筋交いの破断無しが避難所としての使用対象とすることや、天井（屋根）ブレースは被害ランク区分から除外されていますが、余震が起きた場合に追加破断による部材の落下や屋根構面の変形の恐れがあることから、天井ブレースの破断無しが使用対象とすることなど、一般建築物の判定に比べるとさらに安全かどうかを求められています。また、敷地の状況と周辺を確認して、ライフラインの状況（電気・上下水道・情報通信が使用できるか、または復旧の見込みがあるか）の調査に対しても協力する必要があります。

調査は応急危険度判定士が行い、避難所開設の可否は、調査結果に基づき、各市町村が判断することになります。

◆連絡ツールとしての

オクレンジャーの重要性

長野県神城断層地震の際に、県からの要請を受けて、ながの支部からも多くの判定士を派遣しました。その時に地震発生の翌日が休日であったこともあり、判定士への派遣要請連絡が半日以上かかりました。この時の経験を活かして、一斉に情報を発信でき、なおかつ、一元的に判定士の動きが把握可能なオクレンジャーを活用することとしました。オクレンジャーは情報を受け取る側が、登録をしないと情報が届かないシステムになっています。現在、ながの支部では116名の判定士がおりますが、情報を受け取ることができる判定士は57名で約半数の判定士にしか情報が届かない状況です。また、スマートホンを交換すると、再設定をしなければなりません。その方が22名います。今すぐにオクレンジャーへの登録や再設定をお願いします。

各市町村の避難所数は380箇所を超えています。判定にあたっては2名で1チームを組むことになっています

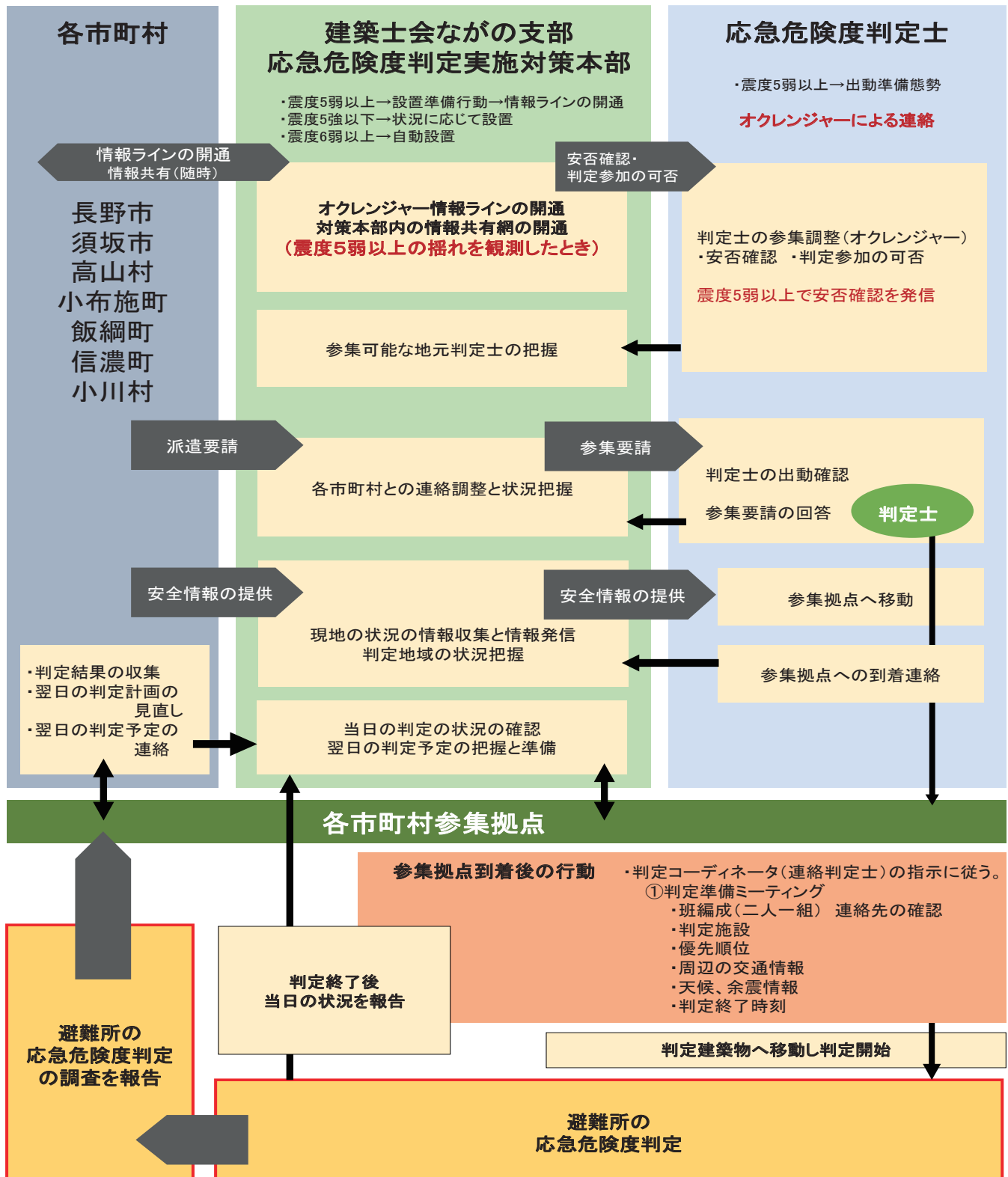


ので、1日4棟（経験上4棟が限界）の判定が可能であったと想定すると避難所の判定を1日で終了するためには判定士が200人必要です。今のままでは協定違反にもなりかねない状況にあります。いうまでもなく、判定

士の人数を増やすことと、少なくとも今判定士である方は、判定士の責務として、あるいは一社会人としてオクレンジャーに登録し、情報を受け取ることができる状態にさせていただくことを強くお願いいたします。

～ 2022 避難所応急危険度判定フロー ～

地震発生



1 長期優良住宅認定申請手数料等が変更されました

長期優良住宅の普及の促進に関する法律および住宅の品質確保に関する法律の一部を改正する法律が令和3年5月28日に公布され、令和4年2月20日に施行されたことに伴い長野市では長期優良住宅の認定申請手数料等を変更いたしました。



認定基準等
改正の概要



認定申請手数料

2 道路後退用地の買取価格を改定します

建築基準法第42条第2項により指定された、長野市が所有し、管理する道路（幅員1.8m以上4.0m未満の市道等）を対象に、令和4年4月1日から道路後退用地の買取り単価を改正します。



道路後退用地
買取価格改定

3 中間検査を行う期間の延長についてお知らせします

ご承知のとおり長野市では中間検査に係る特定工程及び特定工程後の工程を定めておりますが、今年度末をもって施行期限を迎えるにあたり、引き続き期間を設けずに告示の施行を延長いたします。



中間検査を行
う期間の延長

【問い合わせ】

長野市建設部建築指導課 TEL 026-224-5048



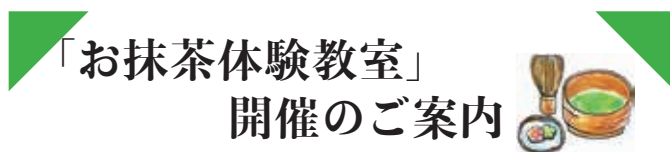
◆題字「須古」には先輩の魂を引き継ぐという意味があります。

旧小田切家住宅「上店」の利活用として毎年開催しております、お抹茶体験教室を今年度も下記のとおり開催いたします。予約不要ですので、お仕事の息抜きなど、須坂へお越しの際はぜひお立ち寄りください。

開催日：4月 22日・23日・24日
5月 20日・21日・22日
6月 17日・18日・19日
7月 22日・23日・24日
9月 9日・10日・11日
10月 14日・15日・16日

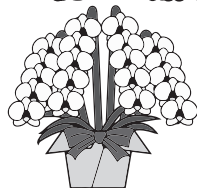
時間：10時～16時

利用料金：300円（お茶・お菓子代）



※新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる場合がございます。中止の場合はながの支部ホームページに掲載いたしますのでご確認のうえお越しください。

お祝いや贈り物に花ギフトご注文承ります。



胡蝶蘭などご予算に応じて、ご用意いたします。また、配達も承っておりますので、ご用命ください。
（※小布施町内配達無料）

フローラルガーデンおぶせ

〒381-0209 上高井郡小布施町大字中松 506-1
TEL:026-247-5487 FAX:026-247-5488





上質で高品質な 無垢材を中心に 豊富なラインナップ

在庫を自社倉庫で管理し、皆様のご希望の床材を全国販売。

私達は床材を通してお客様の生活をより豊かにするご提案をいたします。



複合ブラックチェリー150

チェリー材は、独特なツヤがあり反り狂いも少なく水にも強い材質です。時が経つにつれて、濃くて深い色合いに変化していきます。表面に3mmの天然板を使用し、天然木材の厚挽き材を使っているため無垢材本来の質感があります。

複合ハードメープル150

表面に天然木材の厚挽き板を贅沢に使用しているため無垢材本来の質感があることが特徴です。また、無垢材の弱点である反り・縮みなどのくるいに対しそのデメリットを補う高い安定性がある製品です。

複合ヒッコリー150

ヒッコリーは北米に分布しているクルミ科の広葉樹です。衝撃に強い材質です。芯材と辺材の色の違いがはっきりしていて、褐色の縞模様が特徴です。

LIFE UP FLOOR

オーク三層 フローリング150(12mm)

3枚の木材を木の繊維方向に対し交互に直交させ張り合わせた、三層構造の床材です。無垢材に比べ狂いが少なく、無垢フローリングの欠点を解消しています。床暖房にも推奨できます。

複合オーク150

天然木材の厚挽き材を使っているため無垢材本来の質感があります。また、無垢材の弱点である反り・縮みなどのくるいを補う高い安定性がある商品です。

複合ブラック ウォールナット150

ウォールナットは世界三大銘木のひとつです。表情が良く、暖かみもあり何より美しい木目が特徴です。施工直後は、紫を帯びた灰色ですが時間がたつにつれて、タンニンの影響でより深みのある風合いに変化します。



Check!

詳しくはWEBで
その他商材や
価格をチェック!



株式会社カネト

本社 〒384-1105 長野県南佐久郡小海町大字千代里2959番地2 TEL: 0267-92-2501
軽井沢店 〒389-0207 長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口1747番地1 TEL: 0267-32-8001
上田店 〒386-0001 長野県上田市上田1353番地12 TEL: 0268-21-0777
長野店 〒381-0024 長野県長野市南長池280番地8 TEL: 026-222-5822

Instagramも
更新中!

@Instagram



life_up_floor



TOTO

気持ち、まいにち、きらめくキッチン。

はじめて出会ったときのときめきも、
使うたびに感じるよろこびも、色褪せることなく長続き。
ひとつ上の満足を求める方にこそ、お届けしたいキッチンです。



クリスタルカウンター

光を取り込み、キッチンに透明感を。
使うたびに美しさを実感できる上質な
仕上がりです。熱や衝撃にも強いので、
料理がこれまで以上に楽しめます。



フロアキャビネット

手を伸ばせば、使いたいときに使いたい
ものがサッと取り出せる大容量の収納。
すっきり整とんでき、調理中の動作が
スムーズに。



「きれい除菌水」 生成器

清潔を保ちたいキッチンアイテムは、
「きれい除菌水」でお手入れの仕上げを。
除菌やヌメリ防止などに、いつでも手
軽に使えます。



タッチスイッチ水ほうき水栓LF (浄水器兼用・ハンドシャワー式・エアイン)

水栓の先にポンと触れるだけで、洗い物
の途中でも好きな時に出し止めできま
す。幅広シャワーは水がほうきのように
広がるので、汚れ落としもスピーディー。

ようこそ、光のキッチンへ。

New THE CRASSO

ザ・クラッソ

お問い合わせは、TOTOお客様相談室へ

0120-03-1010

受付時間 9:00～17:00

(夏期休暇、年末年始は除く)

TOTOホームページ

<https://jp.toto.com>

※詳細はカタログまたは弊社WEBサイトをご覧ください。



東海道五十三次の内

金谷宿～菊川の里まで歩く

2017年11月19日(日)「ホテルルートイン島田駅前」のベットの中で目が覚める。

すぐ「今日の天気はどうか」と気になり、ベットの真ん中からテレビの天気予報を見る。今日は一日中雨の心配はなさそうだ。

6時15分からホテルの朝食が始まる。日曜日の朝なので混むだろうと思い、空いた7時頃だと入れるかなと「食事処」に行ったが満員で「待ち」の状態が続く。8時15分に大型バスに集合し、昨日の「歩け歩け」が終わった島田市にある間の宿「菊川の里」にバスで移動する。

いつもの通り本日歩く所の名所旧跡の概略説明と、昨日と同じ班分け(3班に)をし、準備運動をする。皆で「今日もガンバルゾー、エイエイオー!!」の掛け声も高らかに出発する。今日は珍しく遠くに富士山が見え、11月のカラッとした天候で歩くには気持ち良い日である。

「菊川の里」から「小夜の中山」へ入る。「小夜の中山ハイキングコース」と同じ道を久延寺に向かって歩く。

『小夜の中山という峠は、東海道五十三次の中で箱根峠、鈴鹿峠と並び、東海道五十三次の三大難所と言われてきました。小夜鹿に位置する峠で、標高252mあります。小夜ーさえぎる一塞一塞の神を祀る峠から「手向け」の神のいる峠を意味する」という説もある程有名な峠です。中山峠の名称がありますが峠には和歌や俳句の名所でもありまして、代表的な句碑が道路沿いに建てられています。西行法師が詠んだ有名な句があり、丸い珍しい歌碑が建てられています』とウォークリーダー(随行案内者)の菅原さん(女性)の話。なるほど登っていく途中に石碑があちこちにある。西行法師が詠んだ歌碑は今まで見たことがない太い円筒形で、高さも高く、タイルで作った様な歌碑に見えるくらい加工してある。

中山峠の中腹にある久延寺に着く。あまり大きくないお寺であるが、近隣では有名なお寺との事を聞く。『奈良時代に行基が開いたお寺で、徳川家康が慶長六年(1600年)、掛川城主山内一豊に命じて観音堂を建立させ、その後も毎年代参させたとされています。「夜泣き石」伝説がある子育て観音として有名です。境内に大きな五葉松、小石娘供養塔(久延寺夜泣き石)、茶亭跡、月夜姫の墓などがあります。』

山門は弘化四年(1847年)に再建されました。久延寺の近くに「扇屋」という「子育て飴」を売っている昔からの店がありますので後で行ってみたい。その前にこのお寺の中に入って本堂をご覧ください』ウォークリーダーの菅原さんを先頭に、山門を見てから本堂に移動する。

本堂の向拝柱にある木鼻に付いている猿と唐獅子は力強く綺麗に彫ってある。特に左側の唐獅子が「ア、ン」



久延寺本堂

型の「ン」型で、向かって右に顔を少し傾けて「不思議そう」な格好に彫ってある。大きなお寺ではないが他の彫り物も立派で、平虹梁の唐草、眉も良くできてい。久延寺の唐獅子が顔の向きを少しひねってじゃれて飛び掛かって来そうになっているのが面白い。



「茶」の字が見える茶畑

久延寺から西に向かって歩くと、江戸から五十四里の「小夜鹿の一里塚」がある。一里塚からなだらかに茶畑の中を下って行く。近くの小さい丘に「茶」と書かれた字が見える。お茶の木を植えて、遠くからも字が分かるように大きく育てたのだろうか。広い茶畑から見ると、お茶の名所だけあって「茶」の字は名所になる。周りの茶畑は手入れが行き届いてきれいな畑が並んでいる。リンゴと一緒に霜の害に対処する様に、高い柱に空中扇が付いているものがあちこちにたくさんある。

茶畑の中をだらだら長い道を下り「日坂宿」に入る。ここで日坂宿の街並みパンフレットをいただき、ボランティアガイドさんの説明を聞く。

『江戸から五十四里余り、日坂宿は東海道三大難所の一つ「小夜の中山峠」の西に位置し、「西坂」、「入坂」、「新坂」とも書かれていました。山の中の小さな宿場で、東海道五十三次の宿場の中では坂下宿、由比宿に次いでいます。』

慶長六年(1601年)徳川家康による東海道の整備に伴い、問屋場が設けられ、伝馬の継立て駅としての日坂宿は重要な存在になりました。助郷四十三力村の協力で伝馬百人疋と伝馬人百人が置かれ、役人の公用と荷物の輸送に役立ってきました。

天保十四年(1843年)の記録では、宿場町の街並み東西六丁半(約700m)、家数168軒、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠33軒、又人口男性353名、女性397名、合計750名でした。

街並みの形態は現在とあまり変わっていません。

日坂宿の本陣の屋号は「扇屋」で、代々片岡家が世襲で営んでいました。本陣の敷地は約300坪、建坪220坪で門構玄関付の建物でした。

嘉永五年(1852年)の日坂宿の大火で全焼、再建後明治五年に本陣を閉じました。その後明治十二年(1879年)に跡地を日坂小学校の敷地として、家屋は校舎として利用されましたが現存しません。

日坂宿脇本陣の「川坂屋」に茶室があります。(川坂



日坂宿本陣跡(入り口の門だけ残る)

屋茶室のパンフレットをいただく)

この茶室は江戸時代末期に掛川地区内に、藩主太田侯によって建てられ、明治の廃藩置県の際に川坂屋斎藤家に渡り、日坂に移築され、更に新国道の開通に伴い、一度は斎藤家の敷地内で移築され、その後国道1号線バイパスの開通に伴い解体され、保存されました。京間の畳を置く茶室の6帖と関東間の6帖のズレの納め方を移築するたびに考えられ、道具畳脇に洞庫が付けられていたりしてあります。洞庫付きの茶室は犬山にある如庵、裏千家の今白庵(一畳台目)席が有名で、置き洞庫は裏千家の又隠(四畳半)が代表格です。近年は同じ様な間取りに作られる事も多くなっています』



日坂宿「川坂屋」の茶室内部

日坂宿では街道に沿って各家々の軒先に屋号が書かれている大きな「カンバン」が下げられている。「藤文」、「萬家」、「川坂屋」等、一目でよくわかる。檜や櫟の板に書かれたもので、その家の屋号が良くわかる。黒っぽい古い壁に新しい看板はひときわ良く目立つ。



日坂宿の高札場

近くの「相傳寺跡」に高札場が再建されているとの事で見に行く。大きな高札場で、その片隅にこの高札場の歴史が書いてあった。ついさっき聞いた事が書いてある。

この宿場は見る所が多く、時間が足りないまま、西の京都に向かって歩く。

このまちはちまんぐう
事任八幡宮に着く。この神社の読み方は、何と読む？と、ウォークリーダー(随行案内者)に聞く。「コトノママ」と読めず、皆で不思議がり、神社のいわれや歴史を聞いて又びっくり。

延喜式にも載っている神社で、桓武天皇の勅命で、坂上田村麻呂が遷座したと伝えられ、「願い事がそのまま叶う」という意味の神社と言われているという。平安時代の「枕草子」にも出てきて、平安朝の朝廷にも崇敬された神社と聞く。



事任八幡宮 御神木と拝殿

敷地が広く、鳥居をくぐって中に入ると大きな建物の本殿が目に入る。入り口に手水舎や舞殿等立派な建物がある。神社の正面に祀られている大きな杉と楠の木が石垣をバックに、鳥居と共に「鎮座」している。この二本の大木にも神様が宿っているのだろうか、注連縄が張ってある。瓦屋根の立派な塀が坂道に沿って作っており、本殿への登り道として、石の階段とは別に本殿に行けるように作ってある。この神社の北西の隅の崖上にある場所から北に向かってお参りすると願いが叶うという処に行っ



事任八幡宮 本殿

てみる。数多くの人がお参りしていた。

事任八幡宮を出て「道の駅掛川」を経てから、塩井神社を横に見て、国道1号線を横切り、「伊達方一里塚」でウォークリーダー(随行案内者)に説明していただく。

『江戸より五十七番目の一里塚として街道の両側に築かれ、直径七間(約12.7m)、高さ三間(約5.5m)の円形の小山で「一里山」と呼ばれていましたが、明治33年ころ取り壊されました』との事。

大頭龍大権現、福天大権現の道標で説明を受け、掛川宿に入ったことを知る。

馬喰橋を渡り、葛川一里塚跡を通り、掛川宿の「迷所」である「七曲り」を通る。右へ曲がり、左へ曲がり、又右へ曲がり、左へ曲がり、と七回程道の角を曲がった。掛川城の軍事上の迷路で、戦いに際し、敵を惑わす道だ。この道沿いに「塩の道」と書いてある案内の石碑があった。稲葉神社へ行く信仰の「秋葉道」と、信州へ続く物資流通の「塩の道」とも言われていたという。



掛川宿 七曲り案内板

掛川宿の名物「もちや」の「振袖餅」を土産に買う。創業200年で、葛川のすぐ近くにある美味しい葛餅屋さんである。以前にも記述したが、東海道五十三次の街道沿いにある江戸時代から続いている名物の土産屋さんは美味しいものが多い。「名物に旨いものなし」と言われるが、「名物に旨いものあり」である。この振袖餅も家族で美味しくいただいた。



信州へ続く「塩の道」道標

七曲りを曲がると、正面に復元された掛川城の大手門が見えた。大きな柱、大きな梁や桁を使い、壁は、1階は板を張ってあり、2階は漆喰を塗ってある総2階の小ぶりな建物。2階に鉄砲狭間や連格子がある。今回の歩け歩けはこの掛川城の大手門で終わる。足が痛かったけれど何とか歩けた。ウォーキングポールに感謝する。



掛川城 大手門(復元)

追手門前で、筋肉をほぐす運動をしてから、近くの屋根付きの駐車場に止めてある大型バスに乗り、東名高速道路経由で長野に帰る。次回来月はこの掛川城に登城してから歩く予定。本日の歩行距離13.2km。今日は秋晴れの良い天気です歩くには恵まれていた日だ。

例により、バス中では間食、夕食等皆さんよく食べ、よく話をし、良く寝る。長野着は23時20分。そのままバスは高速道路を上田方面に向かった。

(次回掛川宿から袋井宿に続く)



開催日	行 事 名	開催日	行 事 名
1月5日(水)	正副支部長 長野市新年賀詞交換会 (長野市役所第一庁舎5階庁議室)	2月10日(木)	三役会 (web会議)
1月13日(木)	三役会 (web会議)	2月16日(木)	編集部会 (テレワーク活用)
1月25日(火)	新春交流広場および新年会 (中止)	2月17日(木)	幹事会 (web会議)
2月7日(月)	つきいちアーキ・セミナー「地震災害 時における避難所等の応急危険度判定」 説明会 (延期)	2月20日(日)	ワカサギ釣り (中止)

事務局だより

◇長野県収入証紙販売中

支部事務局では長野県収入証紙を販売しております。
確認申請、建設業許可申請等にご入用な方は、ぜひ支
部事務局でお買い求めください。

会員の動き

1月末現在 359名

入会者 12・1月 なし

退会者 12・1月 なし

会員増強に
ご協力ください



訃報

須高ブロックの井浦 登吉氏が1月2日に死去
されました。

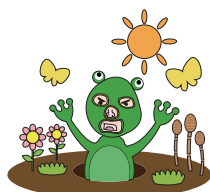
ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し
上げますとともに、心からご冥福をお
祈り申し上げます。



あなたの“伝えたい”をお手伝い

自分史、旅行記、絵画集、
写真集、詩集 etc...

お気軽にご相談ください。



企画・印刷
有限
会社

長野プリントサービス

〒380-0836 長野市南県町1057-13 ☎(026)224-8469 FAX(026)224-8648
E-mail nps@janis.or.jp http://www.janis.or.jp/users/nps/

建築専用3次元CAD/BIMシステムの販売・サポート。
建築設計・施工・維持管理における新たな仕組み“BIM”を
それぞれのお客様に合った最適な形でご提案致します。



OA機器・測量製図機器・コンピュータ機器

株式会社 **イトウ**

<http://www.itoh.co.jp/>

最新の情報と技術をお客様とともに創造し、最適なソリューションをご提案致します。

〒381-0024 長野県長野市南長池498-1
TEL:026-221-4101 FAX:026-221-5313

編集後記

私たちの生活は新型コロナウ
イルスによって変化を余儀なく
迫られ、建築士会の活動も生活の中から薄れつつあ
ります。コロナ禍の今、本当の脅威は未知のウイル
スではなく、人間関係が疎になることではないで
しょうか。他人に対し希薄になることで偏見や差別
が生まれます。そして身近な人との交わりでさえ、ど
か距離を置こうとする気持ちに覚えがないわけでは
ありません。

効率化社会の波に抗えなかったことは大変残念な
ことではありますが、今年度の協議会で議決された
とおり今月号を以てお手元に届く「つちおと」は最後
となりました。次号からは支部ホームページでの隔月
掲載になります。紙面廃止の主な理由としては印刷経
費削減にあります。これをマイナスに捉えるのでは
なく、会員の垣根を越えて活動を発信できる好機と
捉え、新たな人と人とのつながりを育めるような会報
でありたいと考えておりますので、これからも「つち
おと」をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、長きに渡り発行にご尽力い
ただきました長野プリントサービス様にはこの場を
お借りして感謝申し上げます。

(編集長：堀)



公益社団法人 長野県建築士会ながの支部

〒380-0813 長野市大字南長野南県町686-1 長野建設事務所建築課内
http://kenchikushikai.info/ TEL 026-225-9980
e-mail: jimukyoku@kenchikushikai.info FAX 026-225-9981



表紙に戻る